

まいづる

次号の折り込みは6月1日(水)

〈舞鶴市ホームページ〉 <http://www.city.maizuru.kyoto.jp/>

※バーコードリーダー機能がある携帯電話は下記のQRコードから。



旬を迎えた身が大きく肉厚の「丹後とり貝」

驚きの大きさと、最高級の甘み

産地で食す！丹後とり貝キャンペーン

大型で最高級の甘みがある「丹後とり貝」が旬を迎えました。この時期にしか味わえない旬の味を、府内随一の水揚げ量を誇る舞鶴で味わってらおうと、「産地で食す！新鮮「丹後とり貝」をキャッチコピーに「京都舞鶴丹後とり貝はじめのキャンペーン」を実施中。

舞鶴観光協会が府漁業協同組合連合会、府漁業協同組合、(社)市水産協会の協力により実施するもので、市内17店舗で食べられます。

驚くほど身が大きく肉厚の「丹後とり貝」は、素材の「丹後とり貝」は、高級の味をこの機会にぜひ味わってください。

チラシでPR

「丹後とり貝」が食べられる店(17店舗)などを紹介するチラシ(A4判両面カラー刷り、1万部)を作製。観光商業課、まいづる観光ステーション、JR東舞鶴駅観光案内所などで無料配布しているほか、道の駅舞鶴港とれとれセンターや近隣の道の駅、高速道路のサービスエリアにも設置。また、提供店にはのぼりやポスターを配布するなどの「舞鶴ブランド」として市内外へ積極的にPRしていきます。

育成岩がき、出荷始まる

夏の味覚「育成岩がき」の出荷が始まりました。府漁業協同組合の舞鶴牡蠣組合岩がき部会(大下敏明組合長、16人)が舞鶴湾内に浮かぶイカダで育成しているもので、天然より身の大きさが1.5倍あるのが特徴。



▲「育成岩がき」をイカダから引き上げる

今年、雪が多く、山からミネラルなどを含んだ雪解け水が湾内に流れ込み、餌となる植物性プランクトンが多かったため生育も良好。地元舞鶴や首都圏、京阪神地区に8月下旬まで約4万個の出荷を予定しています。



京のブランド産品・地域団体商標登録

「丹後とり貝」

「丹後とり貝」は、府農林水産技術センター海洋センターが開発した全国で唯一、卵から成貝まで育てる技術を使い、府漁業協同組合舞鶴とり貝組合(川崎芳彦代表、20人)が舞鶴湾内に浮かぶイカダで育成。平成20年度には京のブランド産品に認定され、21年度に特許庁の地域団体商標にも登録。

詳しくは、観光協会事務局(観光商業課内、☎661024)へ。

まいづる細川幽齋 田辺城まつり



5月22日(日)に舞鶴公園一帯と西市街地で「まいづる細川幽齋田辺城まつり」を開催(21日(土)は舞鶴公園で前夜祭)。今年は第20回を記念し催しも多彩に。5月21日(前夜祭)19時〜20時、舞鶴公園。東日本大震災からの復興と鎮魂の祈りを込め、市内の幼稚園や保育園に通う園児が描いた「絵灯籠」(200個)の点灯とかがり火。国指定重要無形民俗文化財「松尾寺の仏舞」も披露。5月22日(9時〜16時、舞鶴公園一帯と西市街地) 田辺城であった籠城戦を武者行列や古今伝授の小芝居など5部門に分けて紹介。今年、武者行列に幽齋公の奥方(麝香)に扮する細川佳代子さん(細川幽齋公の子孫で細川家第18代当主・細川護熙元首相夫人)と公募した女武者隊が参加。芸屋台での子ども踊りや語り部◆府登録無形民俗文化財「神崎の扇踊」◆東日本大震災の被災地への復興メッセージの発信。義援金の受け付けも(「ゆうさいくん」や「チョコキまる」のほか、戦国ゆるキャラなども登場)。



武者行列(昨年の様子、マナイ商店街II上)。今年も前夜祭で「松尾寺の仏舞」も披露(5月8日、松尾寺II右) 5月22日、10時〜14時、勤労者福祉会館。衣類や雑貨など25店が出店。圓同館(☎77・1212) 詳しくは、実行委員会事務局(舞鶴商工振興会内、☎75・0933)へ。

みなと舞鶴ちゃったまつり

7月30日(土)は西地区商店街で民踊流しなどの前夜祭、7月31日(日)は東地区の海岸で花火大会など。詳細は決まり次第広報まいづるなどでお知らせします。 ◆クイーンまいづるを募集 観光キャンペーンなど市内外で活動。任期は1年間。対象は市内在住か出身の18歳以上の女性(高校生を除く)。定員3人(書類選考と面接。申し込みは、5月27日(金)17時まで。 ◆メモリアルまいづる 花火・周年記念花火 子どもの誕生日



▲花火大会(昨年の様子)

詳しくは、実行委員会事務局(商工会議所内、☎624600)へ。